【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第３区分
【発行日】平成19年10月25日(2007.10.25)

【公開番号】特開2006-205324(P2006-205324A)
【公開日】平成18年8月10日(2006.8.10)
【年通号数】公開・登録公報2006-031
【出願番号】特願2005-22391(P2005-22391)
【国際特許分類】
Ｂ２５Ｈ　3/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ２５Ｈ　3/02

【手続補正書】
【提出日】平成19年9月10日(2007.9.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
収納側ケース、及び該収納側ケースの開口部に開閉可能に設けられた蓋側ケースから構成された工具収納ケースであって、
前記工具収納ケースの収納側ケース内に収納仕切壁部によって区画された、電動工具本体を収納する工具収納部及び音声装置を収納する電気機器収納部と、
前記電気機器収納部に収納された音声装置と、
前記収納側ケースの側壁部に互いに離間されて取付けられ、前記音声装置によって駆動される一対のスピーカユニットと、
一対の前記スピーカユニットを経て連通する前記側壁部と前記工具収納部の通路上に配置された粉塵遮蔽用フィルタとを具備し、
前記工具収納ケースは、前記蓋側ケースが前記収納側ケースを閉塞したとき、一対の前記スピーカユニットのエンクロージャを形成することを特徴とする工具収納ケース。
【請求項２】
前記粉塵遮蔽用フィルタは、スリット又はメッシュ状の取付け具により保持されていることを特徴とする請求項１に記載された工具収納ケース。
【請求項３】
前記収納側ケース及び前記蓋側ケースは、前記一対のスピーカユニットの配置に対応して、前記収納側ケース及び前記蓋側ケースの内面に突出する部屋仕切壁部で一対の小部屋に分割されていることを特徴とする請求項１又は２に記載された工具収納ケース。
【請求項４】
前記部屋仕切壁部は複数の壁から成り、該複数の壁は互いに離間されてそれらの間に空間部を形成していることを特徴とする請求項３に記載された工具収納ケース。
【請求項５】
前記収納側ケース又は前記蓋側ケースは、閉塞状態において、該両ケースの内面から突出する前記部屋仕切壁部の間に挟まれるように、弾性体材料から成るパッキンを有することを特徴とする請求項４に記載された工具収納ケース。
【請求項６】
前記収納側ケースの前記側壁部に取付けられ、前記スピーカユニットの背面を覆うスピーカカバーであって、音道となる穴部を有するスピーカカバーを更に具備し、

前記スピーカユニットの収納部を区画する、前記収納側ケース及び前記蓋側ケースの内面に突出するスピーカ仕切壁部を更に具備し、

該スピーカ仕切壁部は前記スピーカカバーの該穴部の面と垂直方向で交差するように設けられ、かつ、該スピーカ仕切壁部の端部と前記収納側ケース又は蓋側ケースとの間に穴部を設けたことを特徴とする請求項１乃至５の何れか一つに記載された工具収納ケース。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１８】

本発明の一つの特徴によれば、収納側ケース、及び該収納側ケースの開口部に開閉可能に設けられた蓋側ケースから構成された工具収納ケースであって、前記工具収納ケースの収納側ケース内に収納仕切壁部によって区画された、電動工具本体を収納する工具収納部及び音声装置を収納する電気機器収納部と、前記電気機器収納部に収納された音声装置と、前記収納側ケースの側壁部に互いに離間されて取付けられ、前記音声装置によって駆動される一対のスピーカユニットと、一対の前記スピーカユニットを経て連通する前記側壁部と前記工具収納部の通路上に配置された粉塵遮蔽用フィルタとを具備し、前記工具収納ケースは、前記蓋側ケースが前記収納側ケースを閉塞したとき、一対の前記スピーカユニットのエンクロージャを形成することを特徴とする工具収納ケースを提供する。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１９】

本発明の他の特徴によれば、前記粉塵遮蔽用フィルタは、スリット又はメッシュ状の取付け具により保持されている。